

議 会 を も つ と 身 近 な も の に

ながとろ町 議会だより

No.13

令 和 2 年
3 月 定 例 会

5 月 1 日 発 行



今号の表紙

～チョー気持ちいい汗かき～

町の内外で活躍した人たちが長瀬町のために役立ちたいと結成した「桜と松等を守る会」の17年続く定期作業時の一コマです。



今号の主な内容

- 令和2年度予算可決
- 条例の制定・改正、補正予算可決
- 町政を問う ～ 一般質問 ～

次回定例会は

6月11日(木)9時 開会予定です。

定例会及び臨時会における本会議を、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、会議の当日、庁舎4階に設置された受付場所にて、氏名、住所などを受付票に記入し、議場へご入場ください。

令和2年度 一般会計・特別会計予算 **可決**

安心・安全なまちづくりを 主眼とした予算編成



板谷 定美議員

＼わたしの着眼点／
異なる災害に対応可能なハザードマップの作成に期待します。

昨年の豪雨災害を教訓に、ハザードマップの作成や全町的な防災訓練の実施など、安心と安全なまちづくりに配慮したほか、移住定住にも重点を置いた予算編成となっています。

新年度予算 こんな質疑がありました



井上 悟史議員

＼わたしの着眼点／
夜間の安心・安全を守るための防犯灯付替工事。

Q ハザードマップ作成業務は、委託するのではなく、いちばん地域を知っている住民の皆さんの意見を聞きながら作ったほうが良いと思うがいかがか。また、本当に危険な急こう配地で工事が必要などところなどの点検も総務課で確認した方が、よいのではないか。

A 職員では難しい業務を必要に応じて委託しています。

Q 庁舎施設整備事業は、1億円程度かかるが、何社から見積書を取ったのか。また、リース方式の検討はしなかったのか。

A 機器の調達に当たっては、3社から見積りを取っています。また、リースの場合は、割高になるので今回は購入の方法にしました。



野原 隆男議員

＼わたしの着眼点／
皆野・長瀬下水道組合（下水道費）負担金について。

A 委託業者に丸投げするのではなく、地元の意見を取り入れながら作成したいと思います。また、急こう配地の崩壊危険区域は、県知事が指定しています。新たに指定されている場所もありますので、県土整備事務所に確認しハザードマップを作成します。

Q 固定資産評価替事業の航空写真撮影費は1,552万円と多額の予算であるが、経費削減のために近隣の市町村と共同撮影したりドローンを使ったりすることを検討したのか。

A 業者に確認したところ、ドローンは安全面や画質面がまだ信頼性に欠けるという回答でしたので、今まで通りの手法で実施することを考えています。



岩田 務議員

＼わたしの着眼点／
介護、医療、福祉、子育て、産業振興等、バランスが取れた予算か。

Q マスコットキャラクター作成事業では、以前にも反対意見が多く予算が凍結された経緯があるが、なぜまた予算計上されたのか。財政に余裕がないというのに、作るべきものではないのではないか。

A これから、町をPRするひとつの手法としてマスコットキャラクターの作成が必要ではないかということで、町の職員からの提案があったところです。キャラクターの中には、職員が入りますので、人件費はかかってこないと思います。ただし、職務として入るわけですので、その分の人件費はかかってきます。マスコットキャラクターのランニングコストは、クリーニング代ほかで20万円位です。また、マスコットキャラクターは町をPRするひとつの手段で、当町は観光地でありキャンペーンや各種行事など利用回数や露出度も高いので必要と思います。

Q 例年、予算額と決算額に乖離が見られるが、そうならないような編成を行っているのか。

A 予算編成は、過去の決算、その他のデータを用いて予算計上しています。執行段階で節減を徹底しており、結果として例年1億円の繰越金が生じています。適当に予算を積んでいる訳ではありません。



村田 徹也議員

＼わたしの着眼点／
逼迫する財政状況から、過去の慣例にとられない予算か？

Q 委託料が全体的に多いが見直しはできないか。

Q 臨時財政対策債に依存することは財政の悪化に繋がる。無理に発行する必要は無いと思う。

A 地方交付税の代替財源として臨時財政対策債があります。臨時財政対策債を発行しないと財源を確保できないため、難しい状況です。

一般会計予算 31億5,716万円

令和2年度の主な新規事業

ハザードマップ作成事業	231万円
マスコットキャラクター作成事業	418万円
固定資産評価替事業	1,552万1千円
後期高齢者保健事業	688万6千円
緑の村野外運動施設等除却事業	464万8千円

国民健康保険特別会計予算 7億6,477万円
介護保険特別会計予算 7億1,787万8千円
後期高齢者医療特別会計予算 1億1,042万6千円

Q地域振興対策事業補助金は、限度額が50万円と答弁しているが、見直しを行ったのか。

A令和2年4月1日から要綱を改正します。2行政区からの申請があり、1行政区は50万円、もう1行政区は28万3千円の予算を計上しました。

Q避難行動要支援者名簿システム保守点検委託料は、健康福祉課でできるのではないか。

Aこの委託料は名簿を作るためのものではなく、システムの保守に掛かる費用です。

Q福祉関係計画策定業務委託料は、業者委託せずに自前でできるのではないか。

A限られた職員数の中で、策定することは困難です。

Q子育て支援員の報酬は、多世代ふれ愛ベースの子育てにかかわる人の報酬なのか。

Aパートタイム2名の人件費です。

Q子育てのための施設等利用給付保守料の内容を説明願いたい。

A幼児教育・保育無償化給付に伴うシステムの保守料です。

Q上水道費の児童手当補助金の説明を願う。

A上水道の職員4名分の児童手当を支出するものです。

Q早期不妊検査費補助金、不育症検査費補助金が半減された理由を聞きたい。

A制度創設以来実績がありませんので減額しています。必要であれば補正予算で対応します。

反対討論

▼関口雅敬…厳しい財政状況について一般質問で回答を得た答弁とは逆で、無駄が多い予算で必要なところに手が行き届いていないと感じ納得ができないため反対する。

▼村田徹也…他町と比べ総務費、中でも人件費の占める割合が高く、公債費比率も改善されていない。また、事業が例年の踏襲的なものになっており、将来を見据えて民意を反映した予算とは判断できないため反対する。

賛成討論

▼岩田 務…組替動議や付帯決議という手段を取らないかわりに、反対の話がでているマスコットキャラクターについては再考または凍結をされたい。また、空調設備の改修については、他の方法の検討や他の業者からの見積りを得るなどして、再検討していただけることを期待して賛成する。

▼新井利朗…一般会計予算は、全ての事業が町民の福祉・教育等に直結する事業であり、長瀬町の進展と町民生活を守るためのものであるため、賛成する。



野口 健一議員

＼わたしの着眼点／
民生費と教育費が前年度比減になった。



関口 雅敬議員

＼わたしの着眼点／
予算の費用対効果を注視していきたい。



大島 瑠美子議員

＼わたしの着眼点／
福祉と医療の充実。
100歳まで生きられる社会を目指して。



新井 利朗議員

＼わたしの着眼点／
"長瀬は天下の勝地"と賞される町。マスコットキャラの作製に注目。



染野 光谷議員

＼わたしの着眼点／
高齢者の健康寿命を延ばす保健事業の充実。

条例、補正予算を可決

条例の制定・改正

長瀬町学校のあり方検討委員会設置条例

長瀬町の今後の学校の望ましい在り方について、委員会を設置し、検討するために条例化しました。

〔主な質疑〕

Q検討委員会という名称で、協議し答申するという内容になっている検討委員会で良いのか。

A今後、学校のあり方を検討することを具体的に投げかける意味として名称をこのように付けました。

Q委員名簿の公表はあるか。16名の委員で住民の意見を取り入れていくことで間違いないか。

A委員決定後にいずれかの方法で、公表します。また、地域住民や保護者の意見をできるだけ丁寧に聞いて進めたいと思っています。



長瀬町行政組織条例の一部を改正する条例

複雑多様化する行政事務に対応するため、税務課と出納室を統合し税務会計課とします。

〔主な質疑〕

Q統合によるメリットとデメリットは何か。また、これまで不都合があったのか。

A出納室の人員が少数なので、統合により応援できる体制が整います。デメリットはないと考えます。

Q出納室と税務課を統合することで、課長職がひとり減数となるのか。

A税務課長が会計管理者を兼務することになりますので、そのようになります。

反対討論

▼関口雅敬…税務課と出納室を統合し、税務会計課に改めると、職員の事務が煩雑になり、負担が大きくなるのではないかと。今までの組織体制で不都合がなかったため、統合の必要性を感じないと考え反対する。

長瀬町印鑑条例の一部を改正する条例

印鑑登録できない者を成年被後見人から意思能力を有しない者に改め、登録内容から男女の別の表記を削除しました。

〔主な質疑〕

Q能力を有しない者となっているのはきつい表現だが、法律もそうした表現を使っているのか。

A法律改正により同じ文言を使用します。

Q意思能力を有しない者とは、どういう者をいうのか。

A自らの意思の意味を理解できない者をいうと解しています。

職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例

改正により、会計年度任用職員は、常勤の職員と違う形で職務の宣誓をすることができるようになりました。

〔主な質疑〕

Qこれまで会計年度任用職員は、宣誓を町長の面前で行っていたのか。

A会計年度任用職員制度は、令和2年度から施行となります。

ふるさと長瀬応援寄附金条例の一部を改正する条例

ふるさと長瀬応援寄附金の目的と用途をより明確にするため改正しました。

長瀬町営住宅条例の一部を改正する条例

主に、賃貸借に基づいて生じた金銭の給付を目的とする債務の不履行の場合に敷金をこれに充てることができるように改正しました。

令和元年度 一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ2,493万9千円を減額し、歳入歳出それぞれ32億9,777万2千円としました。

主な内容は、事業が確定したことによる減額と学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業の増額です。

主な質疑

Q プレミアム付き商品券の減額が大きいが見込みと大分違っていたのか。

A 対象者全員の2,000人を見込みましたが、申請された人は429人であったためです。

Q 幼児教育・保育無償化に係る費用は、全額国庫補助金と解し

て良いのか。

A 今年度は全額を国が負担します。次年度から国と町とで半分ずつ支出することになります。

Q 児童手当の不用額はどのような試算をすればこれほど大きな額になるのか。

A 支給額は対象年齢と世帯内の子ども的人数により異なること、また、出生数が見込みの半数程

度であったことによるものです。

Q 土木費の工事請負費の不用額が大きい、工事をしなかったのか、見込み違いなのか。

A 当初見込んでいた工事が地権者との折衝が不調で執行できなかったことにより、不用額となったものです。

人 事

長瀬町公平委員会委員

とのいけ ひでひこ
外池 秀彦氏 (73歳・上長瀬区)

長瀬町固定資産評価審査委員会補欠委員

ふくしま ひろし
福島 博氏 (66歳・宮沢区)

お知らせします 審議した議案と議員の賛否

		審議結果	板谷 定美	井上 悟史	野原 隆男	岩田 務	村田 徹也	野口 健二	関口 雅敬	大島 瑠美子	新井 利朗	染野 光谷
令和2年度 予算	一般会計予算	可決	○	○	○	○	×	—	×	○	○	○
	国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
	介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
	後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
令和元年度 補正予算	一般会計補正予算（第8号）	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
	国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
	介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
	後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
条例の制定	長瀬町学校のあり方検討委員会設置条例	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
条例の改正	長瀬町行政組織条例	可決	○	○	○	○	○	—	×	○	○	○
	長瀬町印鑑条例	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
	長瀬町監査委員に関する条例	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
	長瀬町固定資産評価審査委員会条例	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
	職員のサービスの宣誓に関する条例	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
	職員の給与に関する条例	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
	ふるさと長瀬応援寄附金条例	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
	長瀬町放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
	長瀬町営住宅条例	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
人 事	長瀬町公平委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
	長瀬町固定資産評価審査委員会補欠委員の選任	承認	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
そ の 他	長瀬町道路線の廃止及び変更	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○

○：賛成 ×：反対 ※議長は採決には加わらず、賛否同数の場合のみ議長裁決として表明します



せきぐちまさたか
関口雅敬議員

厳しい財政状況の再確認について

〔町長〕 議会開催時に状況を説明している

Q町長は、町民に財政が厳しいと発言しているが、現在の町の財政状況がどのような状態であるか伺う。

A町長就任当初から町民にはお伝えしてきました。議員にも、議会開会のたびに財政が厳しいと、基金の状況や財政指数を示し、伝えてきました。

小学校の統合について

Q小学校の統合について町長の今の考えを伺う。

A長瀬町の学校のあり方検討委員会を設置し、子

どもたちにとって、望ましい学校の規模や配置など、検討していきます。特に、学校に子どもを通わせている保護者や地域住民の意見を丁寧に聞き取ります。

観光振興計画の今後の活用について

Q策定中の観光振興計画を今後どのように観光振興策に活用するのか伺う。

A計画策定により理念や方向性を定め観光振興推進の指針とします。また、計画により地域おこし協力隊の募集や補助事業を活用し、観光振興に繋がります。



いわた つとむ
岩田 務議員

公共交通の実証実験結果について

〔企画財政課長〕 導入の可否等を令和2年度に検討してまいります

Q事業にかかった費用の総額と利用者数、運賃収入がどの程度であったか。また、実証実験を行い検証した結果と今後の方向性についての見解を伺う。

Aデマンド乗り合いタクシーが73万4,494円、路線バスが471万7,720円。利用者は、デマンド乗り合いタクシーが73人、路線バスが延べ283人でした。運賃収入は、デマンド乗り合いタクシーが1万8,900円、路線バスが2万4,500円でした。

検証結果としては、利用状況やアンケート調査等

について公共交通網形成計画事業を委託しているものづくり大学が取りまとめているところです。分析・検証結果は、5月ごろまでに開催予定の報告会で、町民の皆様にお知らせします。

今後の方向性について、実証実験の分析・検証結果を踏まえ、地域公共交通会議の意見を頂戴しながら、公共交通の導入の可否、あるいは、導入する場合はどのような形態で導入するのか等を、令和2年度に検討します。



むら た てつ や
村田徹也議員

将来を見据えた行政執行について

〔町長〕 住み慣れた地域で安心して暮らせる町を目指す

Q高齢者施策では、町主導で支え合いのための地域力強化に努めるべきではないか。

A地域での取り組みは、その地域が助け合いや支え合いの取り組みの必要性を感じていただかないと地域活動が生まれないことから、その必要性を感じていただけるよう、生活支援体制整備事業を社会福祉協議会に委託しています。

Q高齢者の孤立等の実態把握方法として町と地域住民との意識共有はどのように進めていくのか。

A本人、地域の方々や民生委員等からの情報、地域

ごとの話し合いで把握し、困りごとや地域でできる取り組みなど地域ごとの話し合いを持つことなどにより、意識の共有を持てるよう進めています。

Q住民の想いやニーズをどのように汲み上げ、まちづくりに生かすのか。

A高齢者福祉計画・介護福祉計画策定に伴うアンケート調査からニーズの把握等を行うほか、パブリックコメントによる意見募集や各種委員会の意見集約をし、まちづくりに生かしています。

【その他の質問】 観光振興について



の はらたか お
野原隆男議員

長瀬駅前のもニュメントについて

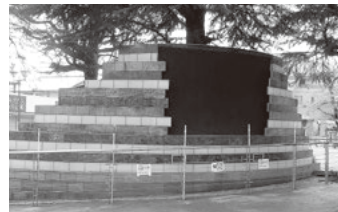
〔産業観光課長〕多くの意見を聞いて慎重に検討したい

Q長瀬駅前のもニュメントは、数年前から壊れたまま放置されている。以前の議会でも議論がなされてきたが方向性がはっきり示されていない。観光地としてのイメージダウンにつながるので、今後の方向性について伺う。

A駅前もニュメントは、宝くじ協会の普及宣伝事業の助成を受け設置しました。全体の設置費用は、1億500万円です。平成16年には、落雷で故障、平成20年には経年劣化によりモニターが故障し、現在は映像が映っていません。

修繕するとなると費用は2,750万円以上かかるということです。今後の活用については、どのようにしたら一番良いのか、多くの方から意見を聞いて、慎重に検討していきたいと思っています。

今後は、しっかりとした協議を重ねて方向性を示していきたいと思っています。



長瀬駅前のもニュメント



あら い としろう
新井利朗議員

増水時の注意喚起と貯水・放流の調整について

〔町長〕防災無線との連携提案があり調整を進めています

Q昨年の台風19号の襲来により荒川上流4ダムの貯水を放流したこともあり、町内でも床上・床下浸水等の被害が発生しました。ダムの放流警報は鳴りましたが、町は事前に情報を収集して危険回避のための行動を促す放送等ができないか伺う。また、4ダムの貯水放流の総合調整をすることができないか。

A荒川ダム総合管理所に確認したところ、ダムの操作・管理はダムごとに、ダム操作規則等に従って操作を行うこととされており、台風19号の際は全ての

ダムが流入する量より放流する量を減らし、事前に予備放流によって水位を低下させ台風に対応していると伺っています。

総合調整については、統合管理に関する協定を締結し、洪水調節容量を効果的に調節すると伺っています。

また、異常洪水時には、ダム管理所長から町にホットラインが構築されますので、水害リスク軽減に努めていきます。



いた や さだ み
板谷定美議員

ハザードマップに関する調査について

〔総務課長〕わかりやすいマップの作成を検討中

Q12月議会後のハザードマップに関する調査の進展について伺う。

A台風・大雨・地震など異なる災害ごとに対応できる避難所・避難場所の指定を検討しています。

福祉避難所について

Q福祉避難所とは、災害時に一般避難所では避難生活が困難な高齢者や障がい者、妊産婦、乳幼児等、災害時に配慮を必要とするような人を受け入れるための設備、機器、人材を備えた避難所施設

である。福祉避難所が、その役割や体制を維持するためには災害が発生する前に町と福祉避難所を運営する事業所とで災害時における対応を検討しておくことが重要である。福祉施設とどの程度話し合いが進められているのか伺う。

A福祉避難所に指定している2施設とは、指定時に実施して以降、話し合いを行っていません。平時からの取り組みなくして災害時に対応することが難しいと認識しています。今後は、定期的な話し合いを検討します。



おおしま り み こ
大島瑠美子 議員

新型コロナウイルスの対応について

〔町長〕 こまめな手洗いや消毒が身近にできる予防策

Q 中国の武漢で発生した新型コロナウイルスは、日ごとに勢いを増し、いつ終息するのかわからない状況である。それでも、町内で感染者が発生したと仮定し、その人が対応を知らないで人と接触したり、町内の医療機関を受診してしまうと感染が広がってしまう恐れがある。その予防の方法や感染した恐れがある場合の対処の方法を周知する考えがあるか。

A 感染予防、感染拡大防止対策としては、参加者の健康被害を考慮し、高齢者等を対象とした事業を

じめ、町主催事業の一部を当面の間中止としたほか、施設の臨時休館を行っております。情報の提供については、国や県の対応も日々変わっておりますので、新聞やテレビなどで最新の情報を確認すると共に、こまめな手洗いや消毒・咳エチケットなど、身近にできる感染予防対策をお願いしているところです。

【その他の質問】

- ・公共交通の実証実験について、聖火リレーに関わるイベントの開催について、ハナビシソウ園について

下水道組合構成員が変わりました

3月18日(水)に開催された皆野・長瀬下水道組合議会で議会構成が変わりました。

議長 野原隆男 副議長 林 太平

総務常任委員会

委員長 井上悟史 副委員長 新井達夫
委員 林 太平、野原隆男

下水道常任委員会

委員長 大塚鉄也 副委員長 岩田 務
委員 小杉修一、板谷定美

自治功労者表彰

2月21日の埼玉県町村議会議長会定期総会において、長年の議員活動の功績が認められ、新井利朗議員が自治功労者表彰を受賞されました。



みんなの 広場



「長瀬町議会を傍聴して」

定年退職して自由な時間ができ毎回傍聴しているが、格式にこだわっている割には議論が低調と感じる。また、賛成・反対の討論では、何も発言せず賛否表明だけというのは寂しく、もっと活発な意見交換を聞きたい。日程は、現役世代が傍聴で

きるよう、土日・夜間開催も考えてもらいたい。服装は、夏場など半袖、開襟シャツなどのラフな服装でも良いのではないかと。(M・Sさん・69歳)

「町の財政を知りたい」

3月議会では、次年度の予算を決める大切な議会なので、傍聴参加させていただきましたが、もう少し活発な討議を期待したのですが、ほぼすんなりと議案が通過したという印象でした。

大きな問題点はなかったのだと思いますが、資料が手元にあるわけではないので意見は言えませんが、町民には理解できないのかもしれませんが、予算の内容がもう少し私にも理解できたら良かったなと感じました。(K・Yさん・76歳)

ながとろ町 議会だより No.13

令和2年3月定例会／5月1日発行
発行：埼玉県長瀬町議会

編集：長瀬町議会だより編集委員会

委員長：野口 健二 副委員長：岩田 務・板谷 定美

編集後記

新型コロナウイルスの猛威が止まない。医療や教育など社会を支える根本が揺らぎ、悲鳴が鳴り止みません。みなさん、このウイルスに耐え抜くには、家にいなければなりません。明るい朝は必ず来ますので、終息するその日まで、笑顔で過ごしてください。(大島瑠美子)